

<p>学びに向かう力 人間性等</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿</p> <p>(1)健康な心と体 (2)自立心 (3)協同性 (4)道徳性・規範意識の芽生え (5)社会生活との関わり (6)思考力の芽生え (7)自然との関わり・生命尊重 (8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9)言葉による伝え合い (10)豊かな感性と表現</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>社会と関わる力</p> <p>人と関わる力</p> <p>主体的に生活する力</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>学級の仲間や先生、校内の自然に親しみを持ち、学校での生活やルールを守って生活することができる。</p> <p>気持ちを伝え合ったり、楽しくしようと工夫したりして、仲間と関わるができる。</p> <p>健康な心と体で生活し、意欲的に活動に取り組み、主体的に行動することができる。</p> </div> </div>			
<p>月</p>	<p>4月</p>		<p>5月</p>	
<p>生活や学習場面における各目標にかかわる願う姿(例)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>一日の流れや過ごし方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用件を伝える。 ・連絡帳や提出物の出し入れをする。 ・トイレや手洗い場の使い方を覚える。 ・手洗いや消毒等の約束を知り、適切に行う。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>道具の使い方、生活のきまり等を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴箱やロッカーを正しく使う。 ・職員室、保健室を覚える。 ・ノートや鉛筆の使い方が分かる。 ・廊下の右側を静かに歩く。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>係や当番活動に取り組み、自分の役割を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具の使い方やルールを覚える。 ・掃除場所と掃除の仕方が分かる。 ・整列して教室移動をする。 ・給食の配膳方法が分かる。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>学校に親しみ、適切に行動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の係の仕事を果たす。 ・特別教室の利用の仕方が分かる。 ・道具や給食等、ルールを守って片付ける。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 25%;"> <p>学級の仲間を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間に挨拶をする。 ・隣の席の子の名前を覚える。 ・並び方を覚える。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>仲間との関わりを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己紹介をする。 ・仲間と名前前で呼び合う。 ・仲間と休み時間を過ごす。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>仲間とやりとりし気持ちを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに挨拶をする。 ・自分から仲間に声をかける。 ・仲間と楽しく休み時間を過ごす。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>仲間と協力して活動を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活班の仲間と一緒に活動する。 ・ルールを守って遊ぶ。 ・新しい仲間と積極的に関わる。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 25%;"> <p>意欲的に登校する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に返事をする。 ・先生を見て、話を静かに聞く。 ・登下校の集合場所や帰り道を覚える。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>自分の生活を自分で整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外で元気に遊ぶ。 ・姿勢よく座る。 ・授業に必要な物を準備する。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>活動に興味を持ち、最後までやりきる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを自分から話す。 ・先生や仲間の話を最後まで聞く。 ・時間のけじめをつける。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>見通しを持ち、自主的に行動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の引率に頼らず下校できる。 ・全校が集まる場で落ち着いて行動する。 ・進んで授業の用意や片付けをする。 </div> </div>			
<p>関連的・総合的に扱う各教科・領域の内容</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■生活「どきどきわくわく1ねんせい」 ■国語「どうぞよろしく」「なんていおうかな」 ■算数「なかまづくりと かず」 ■音楽「うたって なかよくなるう」 ■図工「すきな かたちや いろ なあに」 ■体育「体ほぐしの運動」 ■学活「ならびっこ」 ■学活「じこしょうかい」 </div> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■生活「がっこうだいすき」「きれいにさいてね」 ■国語「こんなもの みつけたよ」 ■算数「なかまづくりと かず」 ■音楽「セブンスステップス」「ひらいたひらいた」 ■図工「どんどん かくのは たのしいな」 ■体育「固定施設を使っての運動遊び」 ■学活「そうじの しかたを おぼえよう」 ■道徳「がっこう だいすき」 </div> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■生活「がっこうだいすき」「はなをさかせよう」 ■国語「よくきいて、はなそう」 ■図工「ちよき ちよき かざり」 ■体育「おにあそび」 ■英語「あいさつしよう」 ■学活「かかりを きめよう」 ■道徳「あかるい あいさつ」 </div> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■生活「がっこうだいすき」「はなをさかせよう」 ■体育「ドッジボール」 ■道徳「なかよくね」「よい ことと わるい こと」 </div> </div>			
<p>指導計画の作成と指導の工夫(例)</p> <p>○指導計画の作成</p> <p>●指導の工夫</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>○45分の単位時間や教科の枠にとらわれない総合的・関連的な指導を行う。</p> <p>○生活科、音楽、体育など学年で行動する機会を多く設定する。</p> <p>○掃除、休み時間等6年生とのつながりの中で活動できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●園からの引継ぎを把握し、個に応じた指導を心がける。 ●一人一人に声をかけ、温かく受容する。 ●トイレの時間を随時設ける。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>○短い時間での切り替え、分かりやすいゴール、遊びの要素や身体的活動を取り入れた楽しさを意識した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝の会や帰りの会、給食準備、休み時間の動き等、同じ流れを繰り返し、生活のリズムを作る。 ●孤立している子、自分の思いを伝えられない子に対する支援を行う。 ●チャイムを守って活動を切り替えることを覚えられるようにする。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>○45分授業の割合を増やし、1時間の流れをつかめるようにする。</p> <p>○2年生とのつながりを意図的に計画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やってみたい、知りたいと主体的に取り組めるような指導過程を工夫する。 ●指示を受けなくてもできるようになることを目指し、できたことを評価する。 ●個の特性に応じた支援を継続し、周囲の児童への理解を図る。 </div> <div style="width: 25%;"> <p>○生活班での行動を取り入れ、自主的にかかわる場を設けるようにする。</p> <p>○ひらがなの指導は、他教科においても継続的に扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●聞く・話す等、学習のルールを積極的に守ろうとする姿を紹介する。 ●困ったことや分からないことを、人と関わりながら解決できるよう声をかける。 </div> </div>			
<p>幼保小の連携(例)及び家庭との連携</p>	<p>☆入学後、児童や保護者に関する新たな情報があれば、小学校へ情報提供をお願いする。</p> <p>☆学校の様子や行事の情報を幼稚園・保育所(園)に積極的に発信することで、学校の取組の理解を得る。</p> <p>☆入学式の日、家庭から提出された「もうすぐ1年生6日間チャレンジ」のシートを預かり、取組を通して家庭で身に付けたこと(挨拶、用具の準備、片付けなど)を学校生活で生かし、家庭で生活習慣づくりに引き続き取り組んでもらえるようお願いする。また提出されたシートは、児童の生活の姿の把握に活用し、認め印をつけて児童に返却する。</p> <p>☆できるだけ早い時期に幼保小連絡会(授業参観・情報交換会)を開催し、幼稚園・保育所(園)の職員と、児童の様子の交流に努める。</p> <p>☆公開保育等に参加して授業を参観することで、幼児の様子を理解し、情報交流に努める。</p> <p>☆通信等で、1か月間の成長の様子を紹介する。</p> <p>☆家庭訪問等で、学校での様子を伝えたり「もうすぐ1年生6日間チャレンジ」の取組以降の家での生活習慣を把握したりすることで、家庭と共通理解を図り、指導に生かしていく。</p>			